教育かわら版

こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１４７
令和２年９月２８日発行
今金町教育委員会の会

一雨一雨、肌に触れる風がひんやりとしてきました。
風の穏やかな夕方。夕暮れ近づく黄昏時。私が自分に一番返る時間。
なぜだろう、ふと、小学生の頃、帰り道見上げた給水塔を想い出したり、ずっと会えていない旧友やお世話になった人を思い浮かべて、胸がきゅっとなり、セピア色になる時間。
落ちつくのです。ずっと浸っていたい思いがあるけれど、気がつくと暗くなった空が、時が経ったことを教えてくれるのです。
また頑張るか。そう思えるひととき。
朝の希望とは異なる感覚。



オレンジ色が好きです。夕日をイメージしているのかもしれません。
西行の「心なき　身にも哀れは知られけり　鴫立つ沢の秋の夕暮れ」に染み入り、
立原道造の「言葉なき歌」でこの先の希望を繋いでいける気がしてきた学生時代から。

こんなバックボーンが自分が今金町でお世話になっている支えかもしれません。

今金エッセイコンテストの審査が終わろうとしています。
どんな作品が選ばれるのでしょう。そして、どんな映像や音楽が作品を彩るのでしょう。
そしてこの先、このイベントはどんな展開を見せるのでしょう。
まだまだいろんな動きが楽しみです。
ピリカを中心とした文化財保護の施策。
もっと周知し、クアプラザ、観光にも結びつけられたら。
文化財保護と観光は別物ですという理論はうなずけます。
私は学者ではありません。ビジネスマンでもありません。
ただ、今金の良さ、もっている資質をより多くの人に知ってもらいたい。今はそれだけです。



元々、転勤族。
とにかくいろんな町にお世話になってきたけれど。それぞれの町に思い出や宝物があるけれど。
もう言っていいんだと安心している自分がいます。「今金がいい。好きです」と。

今だからこそ

今金町は９月以降、少しずつイベントやスポーツ大会を再開してきております。
ウィズコロナの時代にあって、できうる限りの対策をするのは当然のことです。その責任はとてつもなく重いものです。
一方で、教育の目標は、コロナウイルスの蔓延を防ぐという管理的な目標だけではありません。
それぞれの地域には色々な環境があり、このような中でも、形式や人数、場所を変え、理想的でなくても開催することはできないかと、たとえ当日になって急遽中止の判断をしなければならなくなっても、最後まで最善を尽くすのが教育行政だと考えます。



SORA のコンサートの後の中学生の感激の感想、凛とした姿勢。
やってよかった。芸術を欲していたんだ。自分自身もそう感じた瞬間でした。
この後も町教委は対策と覚悟をもち、事業を動かしていこうとしております。